

農業委員会だより



# よさの

第52号 R7.9発行

編集発行

与謝野町農業委員会  
広報編集委員会

〒629-2498

与謝郡与謝野町字加悦433番地  
(加悦庁舎2階)

TEL : 0772 - 43 - 9023 (直通)



阿蘇海を照らす朝日



元気に動き回る鶏

## 【目次】

- 地区定例会の開催について……………2
- 大阪関西万博で与謝野町産ホップの魅力を発信…2
- 農業を通じた地域コミュニティ形成の取組……………3
- 京都府盛土規制法の施行について……………3
- 農地への不法投棄に関する注意喚起……………4
- 編集後記……………4

## 地区定例会の開催について



定例会の様子

8月26日・28日の両日に、加悦庁舎元気館で地域計画の代表者、農業委員、農地利用最適化委員を対象とした地区定例会を開催いたしました。定例会では、22地域において策定された地域計画を基に各地域の農業振興と持続可能な農業経営の実現を目指すことや計画の着実な推進を図るため、農業関係者を中心としたそれぞれの地域で地域計画運営委員会を開催していただくことの協力依頼をいたしました。運営委員会では策定した計画の実行状況の確認、必要に応じた見直しや変更の検討、

さらには地域農業に関する幅広い意見交換や課題の協議を行ってまいります。

町が主催する地区定例会では各地域が抱える課題や有益な情報を共有し、地域間の連携を図ります。地区定例会を通じて、地域を越えた横断的な取り組みや相互協力の機会を創出し、より効果的な地域農業の発展を図り、地域の特性を活かした持続可能な農業の実現するための推進体制の構築を目指していきます。

## Expo2025大阪関西万博で 与謝野産ホップの魅力を発信

Expo2025大阪関西万博の関西パビリオン（京都ブース）において、与謝野ホップ振興協議会が与謝野産ホップを使用したクラフトビール「ASOBI」の試飲会とホップの展示会を実施しました。6月9日から15日までの一週間にわたって開催されたこのイベントでは、与謝野町で丹精込めて栽培されたホップの生産過程や地域の魅力を来場者に広く発信することができました。期間中は1日あたり約3000人の来場者が訪れ、多くの方々に与謝野産ホップの品質の高さと独特の風味を体験していただきました。



当日の様子

与謝野ホップ振興協議会では、10月にも万博への参加を予定しており、その際には万博限定のクラフトビールを販売する計画です。この取り組みを通じて、与謝野産ホップのさらなる発展と地域ブランドの確立を目指しています。

## 農業を通じた地域コミュニティ形成の取組



山崎 政巳さん

岩屋区長を務める山崎政巳さん。岩屋地域は、傾斜地や不整形な区画が多い中山間地域で、限られた耕作者で農地を守られています。山崎さんは若い世代の農業に対する意識や関心を把握されたり、小学生や町内の飲食業者に田植え体験を実施されています。この取り組みを通じて、子どもたちは土に触れ、作物が育つ過程を肌で感じながら食べ物への感謝の気持ちを学び、飲食業者の方も食材への理解を深めています。生産者と消費者をつなぐ体験は、地域の農業文化を継承する重要な役割を果たし、若い世代が動けば年配者も関心を持ってくれるのではないかと期待を寄せられています。また、空き家に隣接する農地を家庭菜園ができるように整備をされ、移住を検討している方に農業を通じて自然と共に生きるライフスタイルを体験してもらい移住定住を促進されています。家庭菜園を通じて、野菜作りの楽しさや収穫の喜びを実感していただくとともに、地域住民との交流も期待されます。山崎さんの取組は、農業体験だけにとどまらず、農業の継承、移住定住の促進、そして地域コミュニティの結束を通じて、農村文化を次世代に引き継ぐとともに持続可能な地域づくりの基盤を築いています。



## 京都府盛土規制法の施行について

危険な盛土等の崩落による被害を防ぐために、令和7年5月1日より盛土規制法の規制区域が指定されました。府内全域で一定規模以上の盛土等の工事を行う場合は京都府の許可または届出が必要になります。事前に該当する規制内容を確認し、盛土等による災害の未然の防止に努めていただくようお願いします。

\*詳しいことは京都府のホームページ(<https://www.pref.kyoto.jp/morido/index.html>)をご確認ください。

## 農業者年金で老後の生活を安全サポート

農業者年金は3つの要件を満たせば、どなたでも加入することができます。

- 加入要件**
- ① 20歳以上から65歳未満の方  
(※60歳以上65歳未満で国民年金に任意加入している方)
  - ② 国民年金第1号被保険者(保険料免除者を除く)
  - ③ 年間60日以上、農業に従事している方
- 保険料** 月額2万円から6万7千円まで千円単位で選択することができます。
- 特徴**
- ★ 少子高齢化時代に強い積立方式の確定拠出型年金です。
  - ★ 終身年金で、80歳前にお亡くなりになった場合には、死亡一時金を遺族の方にお支払いします。
  - ★ 公的年金ならではの税制上のメリットがあります。

## 農地への不法投棄に関する注意喚起



不法投棄されたゴミ

近年、農地や農道への不法投棄が発生しています。家庭ごみや産業廃棄物等の投棄は環境汚染だけではなく農業にも甚大な被害をもたらします。作物の生育に悪影響を与えたり、作業機械の故障や作業効率の低下も招きます。農地への不法投棄は重大な犯罪行為であり重い刑事罰の対象にもなります。不法投棄を発見した場合や不審な車両・行動を目撃した場合は警察署への通報をお願いします。

皆様の情報提供が不法投棄防止の重要な鍵となりますのでよろしく願います。

### 京都府立農業大学校 令和8年度学生募集

京都府立農業大学校では、豊かな自然に囲まれた環境の中で、農業の担い手、農業後継者を養成しています。農業に従事する意欲ある学生を募集しています。

#### 願書受付期間及び試験日

推薦受付／令和7年10月10日(金)から10月24日(金) 試験／令和7年11月7日(金)

前期受付／令和7年12月1日(月)から12月12日(金) 試験／令和8年1月9日(金)

後期受付／令和8年1月19日(月)から1月30日(金) 試験／令和8年2月13日(金)

※詳しいことは京都府立農業大学校までお問合せください。 ☎0773-48-0321

#### 編集後記



今期から農業委員となり全国農業新聞を購読しています。毎週届く新聞の中で先ず一面に掲載されている「お天気クイズ」を読みま

す。毎回のクイズに正解することはありませんが雑学にはなるので楽しんでいきます。その中に100年以上前に埼玉県に降った世界最大の雹(ひょう)の直径はどのくらいかとの問題があり、正解は約29・5cm、重さは約3・4kgでした。埼玉県北部を中心に大きな被害が出たそうです。雹が降ると農作物等の被害が出たとテレビで聞くことがあります。天災とはいえ、降らないで欲しいです。天気のことなら、今年も全国各地で記録的な猛暑に見舞われました。6月発行の農業新聞に水稻の高温耐性品種の開発を急ピッチとありました。高温耐性品種名も熊本県産の「くまさんの輝き」や石川県産の「ひやくまん殻」等独特です。今秋デビューを迎える兵庫県の「コ・ノ・ホ・シ」は9年の歳月をかけて育成されたそうです。

#### 広報編集委員

#### 広報編集委員

多くの情報が掲載されている全国農業新聞を今後楽しみなから読みたいと思っています。

(本城智鶴委員)

間苧谷義人 委員長  
谷原 光昭 副委員長  
成毛 義信 委員  
本城 智鶴 委員  
木村有紀子 委員  
小田 則子 委員